



国立大学病院臨床研究推進会議 第11回総会シンポジウム 「地方大学における人材確保 — リモートワークの有効活用」

広島大学病院

広島臨床研究開発支援センター

平松 信祥



紹介する内容



- I. 地方大学の悲しみ
- II. 広島大学 臨床研究開発支援センター 組織
- III. 広島大学、在宅勤務制度を有効活用
- IV. リモートワークの問題点
- V. 東北大学病院臨床研究推進センターにおける
人材確保の取組み



ちけん君

※ちけん君は社団法人日本医師会 治験促進センターのキャラクターです



地方大学の悲しみ



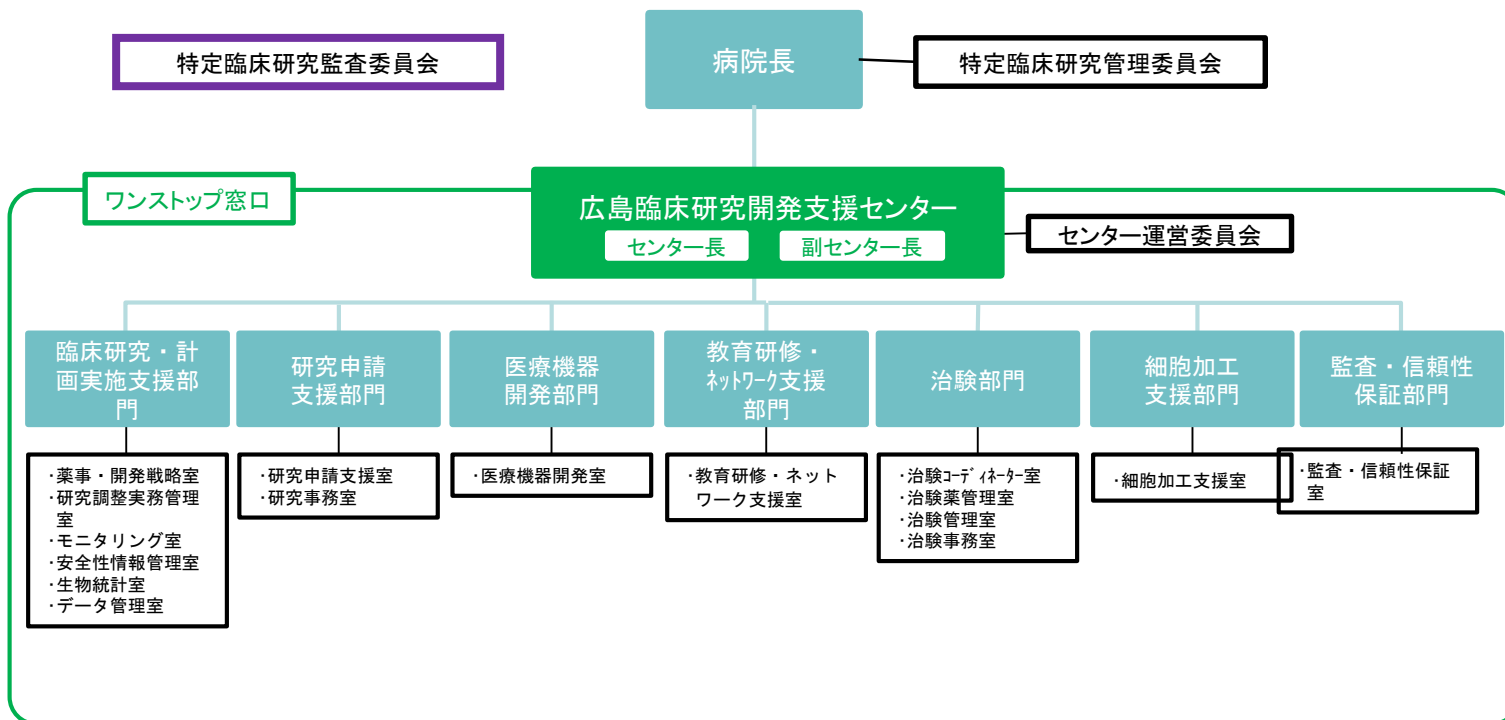
臨床研究に必要な人材を募集しても集まらない。なぜ！

1. 製薬企業、CROの臨床開発部門が、関東、関西に集中
2. 企業OBも自宅が、関東、関西に集中
3. 人脈に乏しい

世の中では、新型コロナウイルスの流行をきっかけにリモートワークという概念が出現し、各種技術の発展による一般的に普及してきた。それに合わせてリモートワークの働き方の試みが始まった。



広島大学 臨床研究開発支援センター 組織図



事務支援: 医療政策室



- ①臨床研究・計画実施支援部門
- ②医療機器開発部門
- ③監査・信頼性保証部門

経験者を雇用することができた。



在宅勤務制度



1. 対象：専門業務型裁量労働制 同意者

2. 手続き

1) 毎月、次月分のテレワーク申請書を提出。

テレワーク承認(不承認)決定通知書を入手。

2) 在宅勤務報告(メール)

① 只今より、本日の在宅勤務を開始。実施予定業務。

② 此れで、本日の在宅勤務を終了。実施業務の結果。

3) 月末、勤務表及びテレワーク実施確認書を提出。





テレワーク申請書

(労働時間管理者) 殿

所属(配属) 広島臨床研究開発センター

職名 診療教授

氏名 平松 信祥

1. テレワークの実施理由	<input type="checkbox"/> 子の養育 <input type="checkbox"/> 介護 <input checked="" type="checkbox"/> その他(再生医療製品等開発支援業務情報収集の為及び自宅が大阪の為)※具体的に理由を記入してください。						
2. 子の養育・家族の介護の場合における対象家族の情報	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="428 382 1145 472">(1)氏名</td> <td data-bbox="1145 382 1841 472"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="428 472 1145 562">(2)続柄</td> <td data-bbox="1145 472 1841 562"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="428 562 1145 629">(3)生年月日</td> <td data-bbox="1145 562 1841 629"></td> </tr> </table>	(1)氏名		(2)続柄		(3)生年月日	
(1)氏名							
(2)続柄							
(3)生年月日							
3. 実施希望日	<p>2023年2月1日 から 2023年2月28日 まで 毎週 金曜日 ※適用期間は1月を超えない範囲となります。 ※週2日以上の実施を希望する場合は、以下欄に別途理由を記入してください。</p>						
4. 実施場所	自宅						
5. テレワーク時に予定している業務内容	規制当局情報の確認、研修講義用スライドの作成						

週2日以上の実施を希望する場合の理由記入欄

本日の在宅勤務開始報告(メール)



管理者 先生

平松でございます。

只今より、本日の在宅勤務を開始いたします。

本日の実施予定業務は、下記でございます。

- ① 「〇〇〇に関する有効性と安全性を探索的に検討する単群非盲検試験」に対する研究申請支援室の質問に関する回答案を作成。
- ② 特定臨床研究責任医師、教育・研修スライド案の作成。
- ③ □□□定期会議にWebで参加。

以上でございます。



本日の在宅勤務終了報告(メール)



管理者 先生

平松でございます。

これで、本日の在宅勤務を終了させていただきます。

本日の実施した業務は、下記でございます。

- ① 「〇〇〇に関する有効性と安全性を探索的に検討する単群非盲検試験」に対する研究申請支援室の質問に関する回答案を作成し、提出いたしました。
- ② 特定臨床研究責任医師、教育・研修スライド案を作成いたしました。
- ③ □□□定期会議にWebで参加いたしました。

以上でございます。



テレワーク実施確認書



実施日	業務内容及び進捗管理	備考
1月 6日	<p>①医師主導治験責任医師認定制度案策定、素案作成いたしました。</p> <p>②〇〇特定臨床研究定期会議にWeb参加いたしました。</p>	
1月13日	<p>①〇月〇日実施予定のRBA研修の教育スライド作成いたしました。</p> <p>②□□医師主導治験の実施計画案作成会議にWeb参加いたしました。</p>	
1月20日	<p>①△△医師主導治験の監査手順書及び監査計画書を作成いたしました。</p> <p>②医学系臨床研究基礎セミナーにWeb参加いたしました。</p>	
1月27日	<p>①〇〇学会学術集會にWeb参加いたしました。</p> <p>②医学系臨床研究実務研修Webセミナーの講師を務めました。</p>	



リモートワークの問題点



- リモートワークが全学的に受け入れられているわけではない。
- 職場出勤を義務づけられている職員とリモートワーク可能の職員との差異に不公平感が生じている。
- リモートワークで働く職員に対して、些細なことに関する質問や話しかけられないなどのコミュニケーション障害が危惧される。
- 当院では裁量労働制を採用しており、リモートワークと併用すると、一般的な労働時間において私的な行動しても把握することが出来ない。
- 上記のことから広島大学ではリモートワークでの働き方に否定的な意見もある。



リモートワークの現況のまとめ



1. リモートワークが適する人材においては、資料作成を主とする業務やWeb会議中心であれば業務をリモートワークで遂行することは有効であった。
2. リモートワークは、性善説に基づいた働き方であり、リモートワークでも必要業務を適切に、速やかに実施しなければならない。
3. リモートワークでの職員に対してコミュニケーションがとりづらいとの意見もあり、リモートワークという働きかたの制度を継続する場合にこれらを改善する取り組みが求められる。



東北大学病院臨床研究推進センターにおける人材確保の取組み

- 概況

- 地元で臨床開発の経験者が少ない状況は同様であり、仙台での雇用は限られる状況にある。
- 大学全体としてリモートワーク活用に積極的であり、大学の理解は得やすい。
- 転勤族が多い土地柄であり、雇用した人材が定着しにくい。

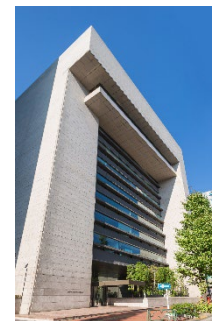
- 取組① リモートワーク前提の雇用（2022年度から）

- 仙台でも東京でもない地域に居住する人材をリモートワーク前提で雇用
- 月当たり5日程度は仙台に勤務（出張）
- 専門性が高い人材を雇用できた



東北大学病院臨床研究推進センターにおける人材確保の取組み

- 取組② 東京分室の活用（2017年度から）
 - 日本橋ライフサイエンスビルにCRIETO東京分室を開室
 - 開発推進部門、国際部門、臨床試験データセンターの人材が東京分室に常駐（リモートワーク併用）
 - 首都圏在住の専門性が高い人材の雇用を可能になった
 - 仙台から東京に転居になる人材を継続して雇用が可能
 - 人材確保以外のメリットも（産学連携、アクセス機会向上）



東京都中央区日本橋本町2丁目3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前駅」A6出口より徒歩3分
- JR総武本線「新日本橋駅」5番出口より徒歩2分
- JR山手線・京浜東北線・中央快速線「神田駅」南口より徒歩11分、「東京駅」日本橋口より徒歩13分





ご清聴ありがとうございました

